

【悪魔】 最近、かなり有名な芸能人が、覚醒剤を使った疑いで、立て続けに逮捕されましたね。世間の反応は様々なようですけど、特に清純派として有名だった方については、事務所を解雇されるかどうか、もう一度芸能界に復帰できるかどうか、ずいぶん話題になっているようです、どのようにお考えになりますか？

【天使】 まず、本件については、現在捜査が進行中であり、捜査途中での被疑者の自白等の情報が報道されたとしても、それが真実とは限らない可能性があることを、あらかじめ念頭に置いたうえで議論しなければなりません。ただ、仮に、現在拘留中の容疑者が覚醒剤を使用していたとされた場合には、事務所との間での契約条項によっては解雇の理由が十分あることになるし、今後の番組等で本人を起用しようとする芸能関係者が果たしているかは何とも言えないが、常識的に考えれば、覚醒剤を使用していた芸能人を従来どおり雇用する事務所や番組関係者に対して、ある程度の批判が向くことはやむを得ない部分があるように思われる。

悪魔と天使の法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第31話

芸能人の覚醒剤疑惑

【悪魔】 まあ、資格の必要な職と違って、芸能界はすべて契約関係で成り立っているわけですから、法律上必ずこうなる、というものではないんでしょうな。でも、覚醒剤やそれに類するもので言えば、過去にいろいろな人が逮捕されたり服役したりしていますけど、芸能界に復帰している人もいないわけではありませんよね。実際、逮捕されて、服役した場合は、過去の犯罪についてはそれで償った形になるはずでしょう？ そうだとすると、過去に犯罪歴があるから芸能界に参加するべきでない、という意見が出てくるのは、別の理由があるんでしょうか？

【天使】 ここから先は、厳密な意味での法律上の議論ではない部分が若干含まれてくるのだが、過去に犯罪歴のある者をどのようにに社会の中で処遇すべきかは、行刑政策上の難問の一つと言って差し支えない。過去の犯罪事実について服役により罪が償われているからその後のことは関係がないはずだ、というのは、刑罰を受けた事実について重ねて刑罰を科されることがない、という「一事不再理」の適用についての話であって、世間の目は必ずしもそのような

考えないことが通常だ。実際、統計によれば、全犯罪者の中で再犯者・累犯者が占める割合はそれなりに高いと言われているから、世間から疑惑の目で見られ続けられること自体は、ある程度やむをえない部分があると考えられる。

【悪魔】 理屈の上ではそのとおりなんでしょうけれど、どうも今回問題になっていることは、次元が全然違うような気がしますね。つまり、今回捕まったうちの一人が、従来「清純派」として多くのファンを持っていた人で、裁判員制度の推進や覚醒剤取締のキャンペーンにも登場していたことが影響しているんじゃないやありませんか？ でも、「清純派」かどうかは、あくまでその人の芸能人としての仕事の上でのイメージであって、その人の人格が直接現れているわけではないでしょう？ なぜ「清純派」の芸能人が事を起こすと世間が過剰に騒ぐのか、どうも理解できないところがあるんですけど。

【天使】 仮にそのような部分があるとしても、それは清純派として売り出したことによる副作用の一つと考えられるから、他の事例と比べて



公平不公平を論ずることは妥当ではなからう。今回の件では、当該被疑者は、警察官の任意同行に应ぜず数日間行方不明になっており、世間全体が振り回された印象が強かったから、徐々に犯罪事実らしきものが明らかになってきたことによって、非難の度合いが高まっているのではなからうか。あと、芸能人の影響力は、特に若年者に対して大きいことが予想されるから、犯罪歴のある者が脚光を浴びるという事実自体に、やや問題がある可能性はないわけではない。

【悪魔】 どうなんでしょうかね。世間にいろいろな人がいるんだから、芸能界にだって逮捕歴のある人や犯罪歴のある人がいても構わないでしょう？ しかも、望んでそうなる人はさすがにいないと思いますから、ある意味で希少価値が出てしまうんじゃないやありませんか？ それにしても、今回の騒ぎや世間の怒りようを見てみると、当人が「清純派」の演技をしていたのじゃなくて、本当に「清純」だったと勝手に信じ込んでいた人の数は、「若年者」というより、むしろ「大人」の方に多いような気がするんですがねえ。